

校内スケッチ

～ 図書委員会、読み聞かせ活動 ～

昨日の11月24日(水)から明日26日(金)までの3日間、図書委員会の5,6年生が、3～4人でグループをつくり、朝の会の時間の8:30～8:45に、全学年、全クラスで、絵本などの「読み聞かせ」を行う、主体的な活動に取り組んでいます。今朝、委員会担当の先生とともに、教室を回りましたが、委員会児童たちは、責任感をもち、しっかり活動していました。また、全体的な雰囲気として、先生による読み聞かせの時とは異なる、新鮮さや集中力を感しました。

さて、特別活動(委員会活動を含む)の目標の一つに、「自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活、及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考え、自己実現を図ろうとする態度を養う」があります。学習指導要領の文章なので、かたい文言ですが、要は、児童たちが、将来、社会人になった時に身に付けておくことよいスキルを学ぶことが目標とされていると受け取ります。

これまで、緊急事態宣言が出ている間は、本校では、委員会活動の他、クラブ活動や縦割り清掃などで、異学年や異クラスが混ざる活動を中止にしていたが、ここ最近、ようやく活動を再開しています。縦割り清掃の活動では、高学年が低学年に、掃除の仕方を丁寧に献身的に教えています。また、高学年の黙々と掃除をする姿が自然と低学年のお手本になっています。見ていて、微笑ましく、また、その中に頼り頼られる光景もあり、教師が児童に直接指導する以上に教育効果があると感じることもしばしばです。少しずつですが、日常がもどってきていて、うれしいですが、まだまだ、油断はできないですね。うっかりせずに気を配り続けたい所です。

